

II がん罹患数及び罹患率

1. 岡山県と全国の罹患率の比較（主要部位別、男女別）

年齢調整罹患率を岡山県（2011年、2010年値）と全国（2010年推計値）で対比した（表2）。

2010年の岡山県の年齢調整罹患率の比を全国の値（日本人モデル人口）と比較すると、全部位では男は1.04、女は1.11と男女とも全国値を上回っている。DoIIの世界人口での検討においても同様の結果であった。

また男では膀胱（1.68）、脳・神経系（1.52）、腎など（1.30）、女では脳・神経系（2.26）、子宮（1.61）、皮膚（1.41）などが全国値に比べ高かった。

また、岡山県の2010年と2011年の値を比べてみると、次のページの図3のように、全体的に年齢調整罹患率は高くなってきている。

表2 岡山県と全国との比較 -年齢調整罹患率-：主要部位別、性別 2010年

	年齢調整罹患率(日本人人口) ^{(*)1}						年齢調整罹患率(世界人口) ^{(*)2}			
	男			女			岡山/全国 ^{(*)3}		岡山/全国 ^{(*)3}	
	岡山 2011	岡山 2010	全国 ^{(*)3} 2010	岡山 2011	岡山 2010	全国 ^{(*)3} 2010	男 2010	女 2010	男 2010	女 2010
全部位	454.3	450.0	433.0	328.1	323.4	292.6	1.04	1.11	1.04	1.12
口腔・咽頭	12.3	10.9	11.0	4.3	3.8	4.0	0.99	0.96	1.01	1.00
食道	18.3	17.5	17.1	2.6	2.4	2.5	1.03	0.97	1.04	0.99
胃	74.6	76.2	79.7	26.7	28.7	28.2	0.96	1.02	0.95	1.02
大腸	76.3	69.9	64.4	43.3	42.6	37.3	1.09	1.14	1.10	1.17
┌ 結腸	45.1	41.4	38.8	28.4	26.6	25.7	1.07	1.03	1.08	1.06
└ 直腸	31.2	28.5	25.5	14.8	16.0	11.5	1.12	1.39	1.12	1.41
肝臓	25.3	30.5	28.7	9.0	10.2	10.3	1.06	0.99	1.06	1.02
胆嚢・胆管	7.9	8.0	9.6	5.2	5.1	6.2	0.83	0.83	0.82	0.86
膵臓	14.1	15.9	15.2	9.3	9.1	10.0	1.04	0.91	1.05	0.88
喉頭	3.8	4.3	4.2	0.4	0.2	0.3	1.02	0.60	1.01	0.62
肺	61.7	60.4	64.6	22.2	20.2	23.7	0.94	0.85	0.94	0.85
皮膚 ^{(*)4}	8.1	8.3	6.5	6.3	6.8	4.8	1.27	1.41	1.23	1.46
乳房	0.8	0.6	-	77.7	79.7	78.4	-	1.02	-	1.02
子宮	-	-	-	53.2	45.2	28.1	-	1.61	-	1.66
卵巣	-	-	-	9.7	9.6	11.3	-	0.85	-	0.85
前立腺	57.8	55.3	56.0	-	-	-	0.99	-	0.99	-
腎など	15.0	18.2	14.0	5.8	6.0	5.2	1.30	1.15	1.29	1.15
膀胱	22.4	21.5	12.8	4.4	3.6	2.6	1.68	1.35	1.71	1.35
脳・神経系	5.4	4.9	3.2	6.4	5.7	2.5	1.52	2.26	1.45	2.17
甲状腺	5.8	5.1	4.5	12.1	16.0	11.5	1.12	1.39	1.12	1.36
悪性リンパ腫	14.7	13.5	14.1	10.4	10.8	8.6	0.96	1.25	0.96	1.26
多発性骨髄腫	2.2	2.6	2.9	2.3	1.5	2.1	0.88	0.73	0.85	0.76
白血病	6.0	5.3	7.6	4.2	4.8	5.0	0.69	0.97	0.73	0.94

日本人人口^{(*)1}: 1985年日本人モデル人口 世界人口^{(*)2}: DoIIの世界人口

全国^{(*)3}: 厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が10府県市の成績から推計した最新値

皮膚^{(*)4}: 皮膚の黒色腫を含む

図2に岡山県の全部位の5歳年齢階級別・性別罹患率のグラフを全国推計値とともに示した(2010年推計値)。

図3に全部位の年齢調整罹患率(標準人口:1985年日本人モデル人口)の1996年~2011年の年次推移を男女別に全国値(1996年~2010年推計値)とともに示した。

図2 全部位の年齢階級別罹患率2010年(男女)

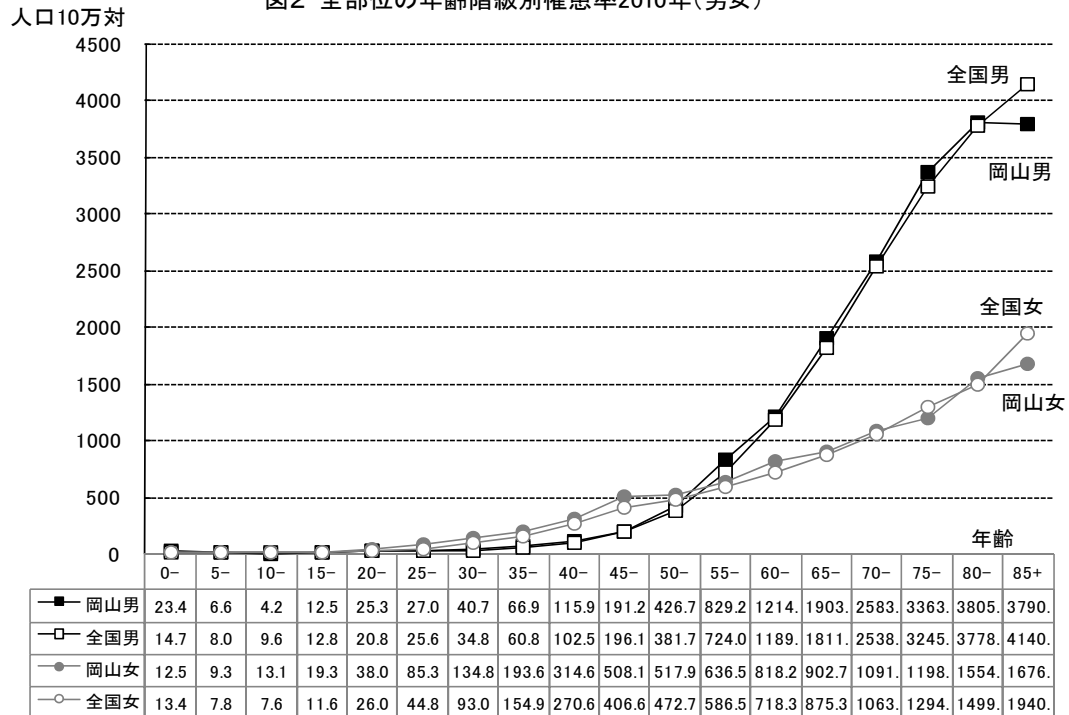
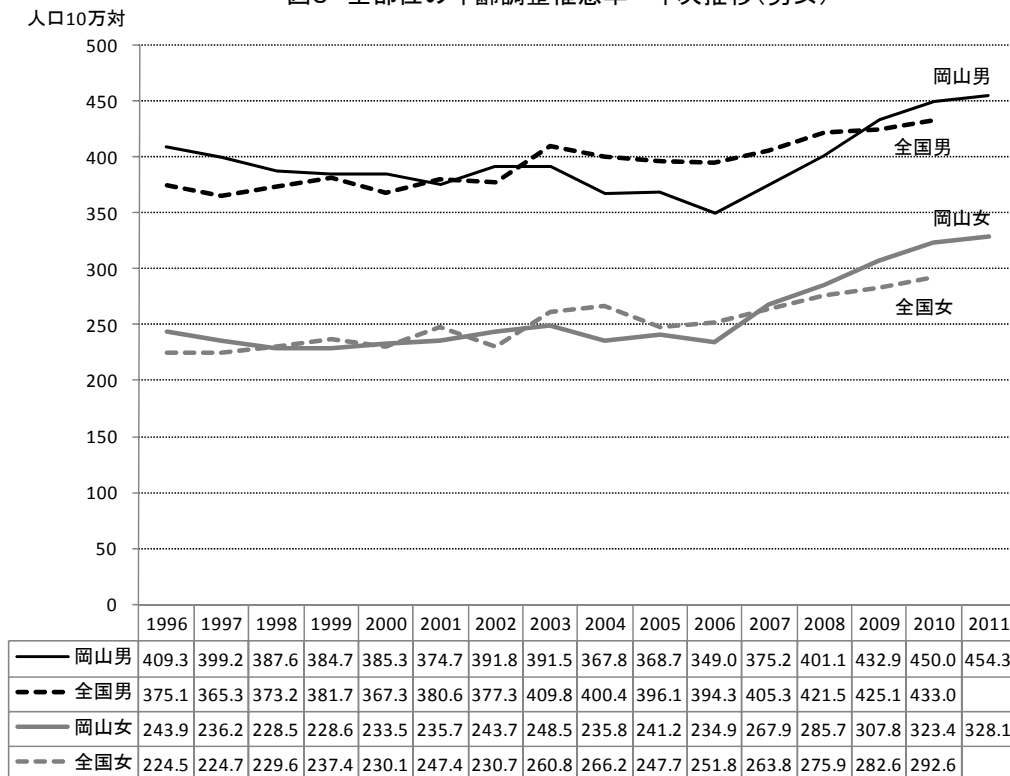


図3 全部位の年齢調整罹患率 年次推移(男女)



2. 主要部位別罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率（主要部位別、男女別）

2011年のがん罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率、罹患割合を、主要部位別、男女別に示した（表3）。

全がん罹患数は、男7,933、女5,825、計13,758人であった。人口10万人当たりの粗罹患率は男852.1、女576.9、日本人モデル人口による年齢調整罹患率は、男454.3、女328.1であった。

男については粗罹患率は胃が1位、大腸（以下、大腸とは結腸と直腸を合わせた症例とする）が2位、年齢調整罹患率は大腸が1位、胃が2位であった。

女については粗罹患率、年齢調整罹患率ともに乳房が1位、2位は粗罹患率では大腸、年齢調整罹患率では子宮となっており、女性特有のがんの罹患率が高くなっている。

表3 罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率および罹患割合：主要部位別、性別 2011年

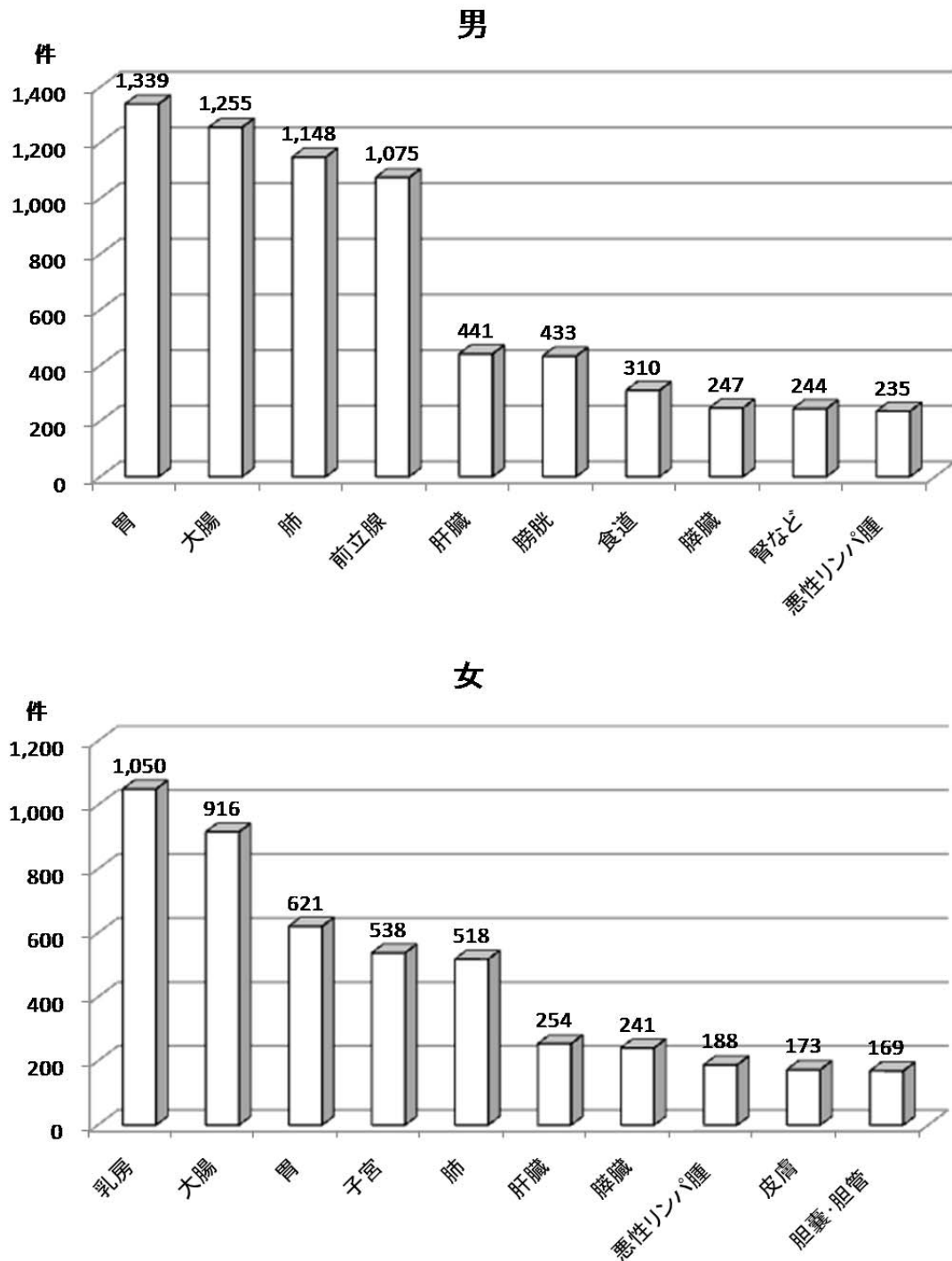
部位	罹患数			粗罹患率 (人口10万対)		年齢調整罹患率				罹患割合 (部位/全部位)	
						日本人人口 ^(*)		世界人口 ^(**)			
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	7,933	5,825	13,758	852.1	576.9	454.3	328.1	322.3	248.2	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	199	86	285	21.4	8.5	12.3	4.3	9.2	3.3	2.5%	1.5%
食道	310	58	368	33.3	5.7	18.3	2.6	13.2	1.9	3.9%	1.0%
胃	1,339	621	1,960	143.8	61.5	74.6	26.7	51.7	18.9	16.9%	10.7%
大腸	1,255	916	2,171	134.8	90.7	76.3	43.3	55.0	31.5	15.8%	15.7%
┌ 結腸	754	654	1,408	81.0	64.8	45.1	28.4	32.1	20.4	9.5%	11.2%
	└ 直腸	501	262	763	53.8	25.9	31.2	14.8	22.9	11.1	6.3%
肝臓	441	254	695	47.4	25.2	25.3	9.0	18.0	5.9	5.6%	4.4%
胆嚢・胆管	163	169	332	17.5	16.7	7.9	5.2	5.1	3.3	2.1%	2.9%
膵臓	247	241	488	26.5	23.9	14.1	9.3	9.7	6.5	3.1%	4.1%
喉頭	67	10	77	7.2	1.0	3.8	0.4	2.7	0.3	0.8%	0.2%
肺	1,148	518	1,666	123.3	51.3	61.7	22.2	42.7	15.9	14.5%	8.9%
皮膚 ^(***)	161	173	334	17.3	17.1	8.1	6.3	5.6	4.3	2.0%	3.0%
乳房	14	1,050	1,064	1.5	104.0	0.8	77.7	0.6	60.2	0.2%	18.0%
子宮	-	538	538	-	53.3	-	53.2	-	43.1	-	9.2%
卵巣	-	134	134	-	13.3	-	9.7	-	7.8	-	2.3%
前立腺	1,075	-	1,075	115.5	-	57.8	-	39.8	-	13.6%	-
腎など	244	127	371	26.2	12.6	15.0	5.8	10.7	4.1	3.1%	2.2%
膀胱	433	125	558	46.5	12.4	22.4	4.4	15.1	3.1	5.5%	2.1%
脳・神経系	67	100	167	7.2	9.9	5.4	6.4	4.5	5.1	0.8%	1.7%
甲状腺	72	157	229	7.7	15.5	5.8	12.1	4.6	9.8	0.9%	2.7%
悪性リンパ腫	235	188	423	25.2	18.6	14.7	10.4	10.8	7.8	3.0%	3.2%
多発性骨髄腫	40	56	96	4.3	5.5	2.2	2.3	1.5	1.6	0.5%	1.0%
白血病	76	56	132	8.2	5.5	6.0	4.2	5.1	4.1	1.0%	1.0%

日本人人口^(*):1985年日本人モデル人口 世界人口^(**):DoIIの世界人口

皮膚^(***):皮膚の黒色腫を含む

2011年における罹患数上位10部位を男女別にグラフで示した(図4)。

図4 部位別罹患数2011年(上位10部位)

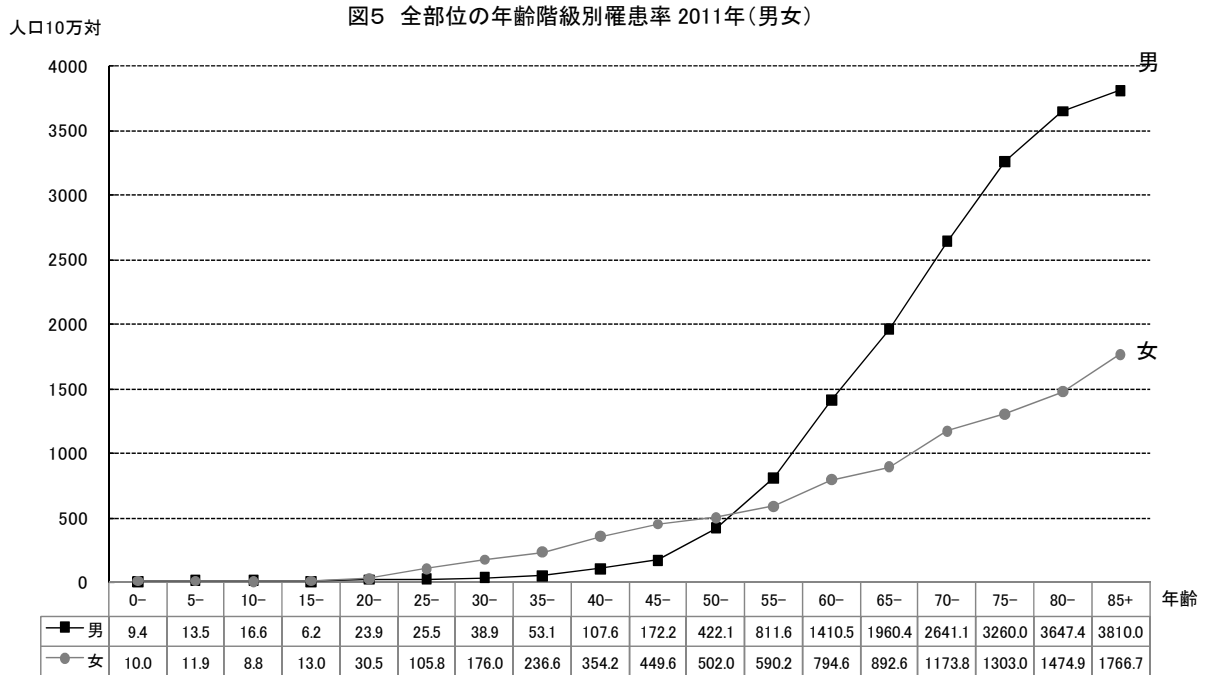


3. 年齢階級別罹患率

(1) 全部位の年齢階級別罹患率

全部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した（図5）。

男女ともに年齢が高くなるにつれ、がん罹患率が高くなっている。男の罹患率は50歳を過ぎる辺りから急増する傾向にあり、年齢が高くなるにつれて男女の罹患の比率の差が大きくなっている。



(2) 特定部位別の年齢階級別罹患率

特定部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した(図6、7)。

男は50歳台からいずれのがんも罹患率が増加している。肺がんの罹患率は70歳台を超えても上昇している。

女では乳がんの好発年齢である40~60歳台までの罹患率が高くなっている。また、子宮がんの罹患率は子宮頸がんの好発年齢とされる20~30歳台から増加して、30~40歳台にピークになっている。

図6 年齢階級別罹患率2011年<特定部位> -男-

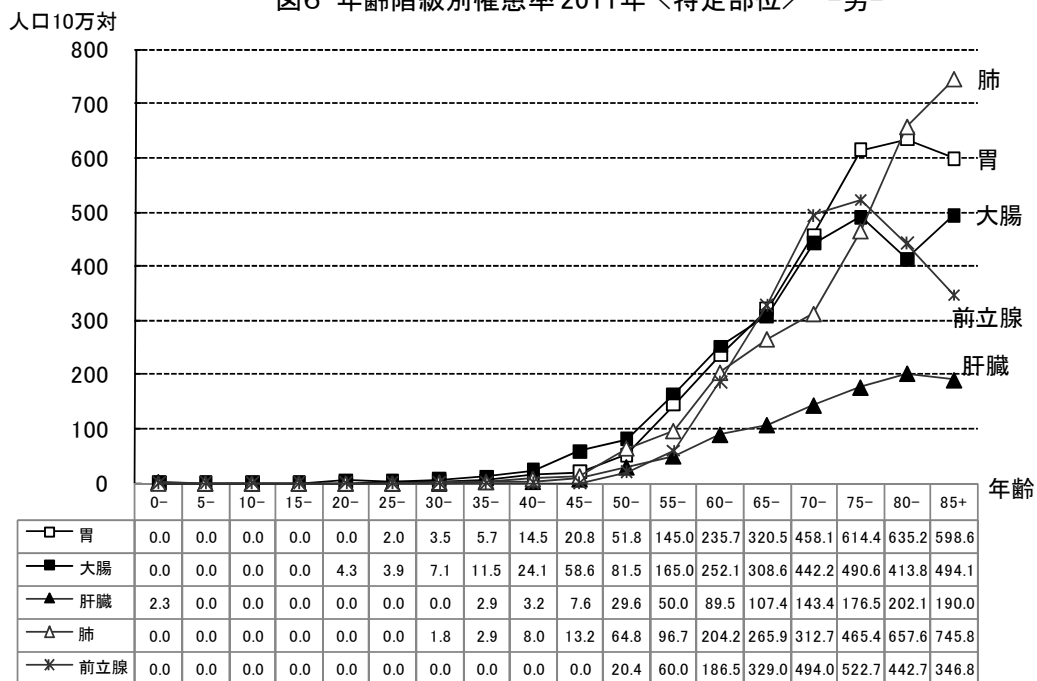
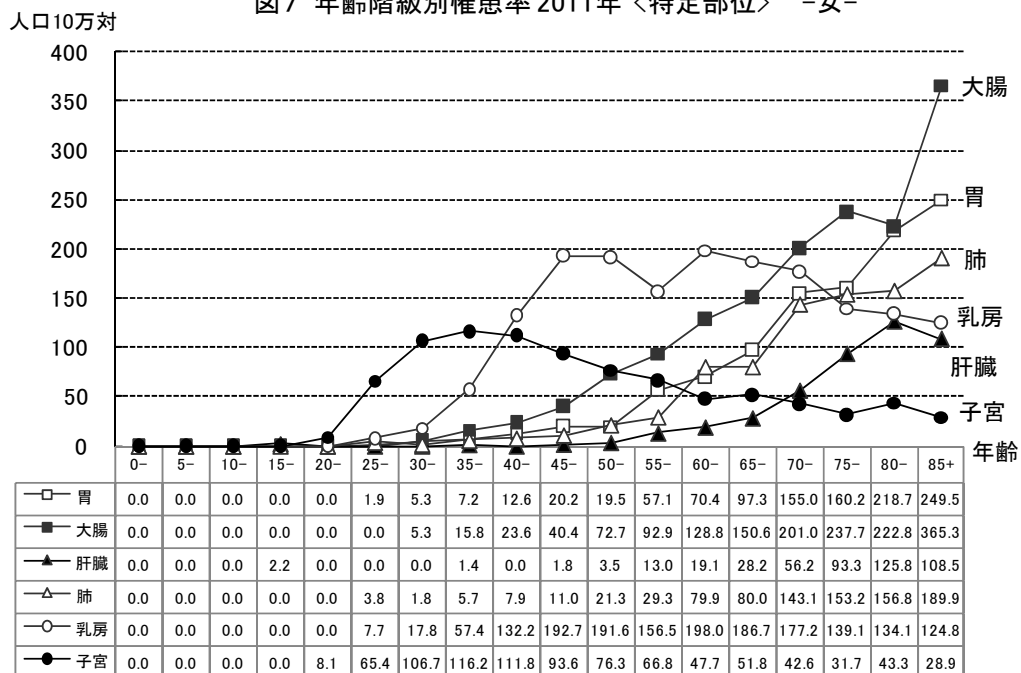


図7 年齢階級別罹患率2011年<特定部位> -女-



4. 男女別の主要部位別罹患率の年次推移

男の主要部位別、罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図8、9）。

男の年齢調整罹患率をみると大腸がん76.3、胃がん74.6、肺がん61.7が他の部位に比べて高く、2006年以降上昇傾向にあり、大腸がんは2011年に1位となっている。

図8 粗罹患率の年次推移—主要部位別、男

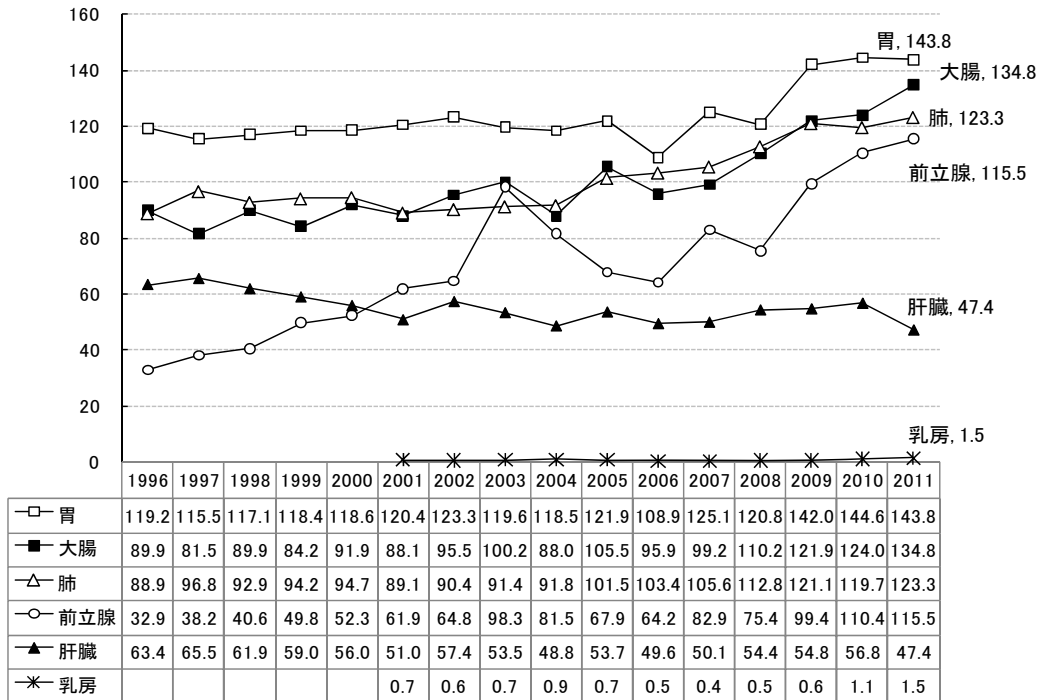
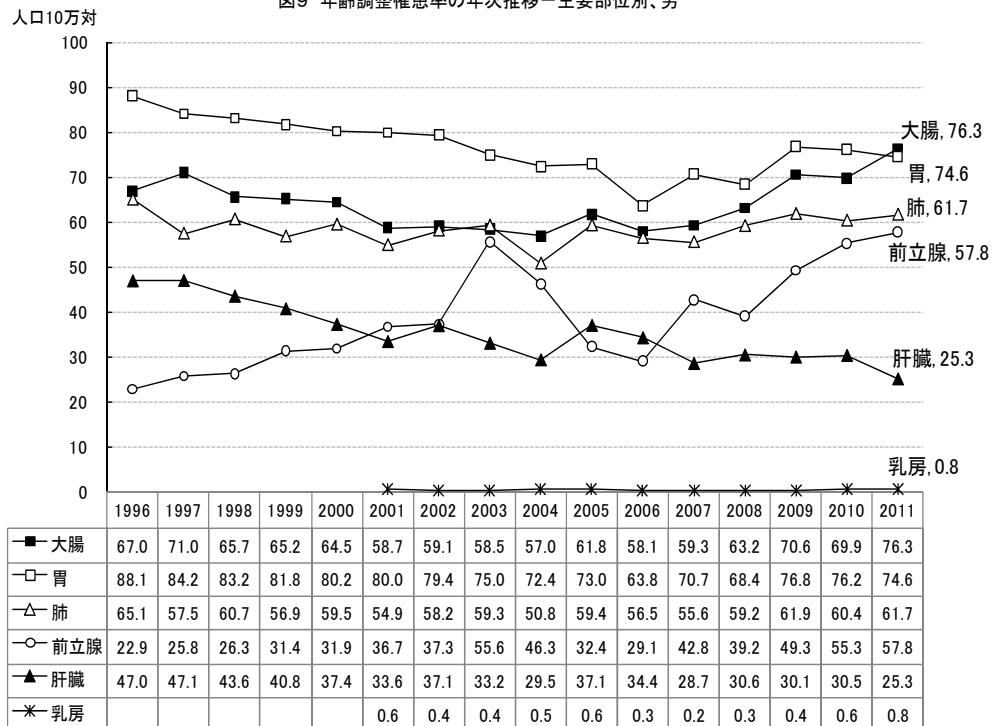


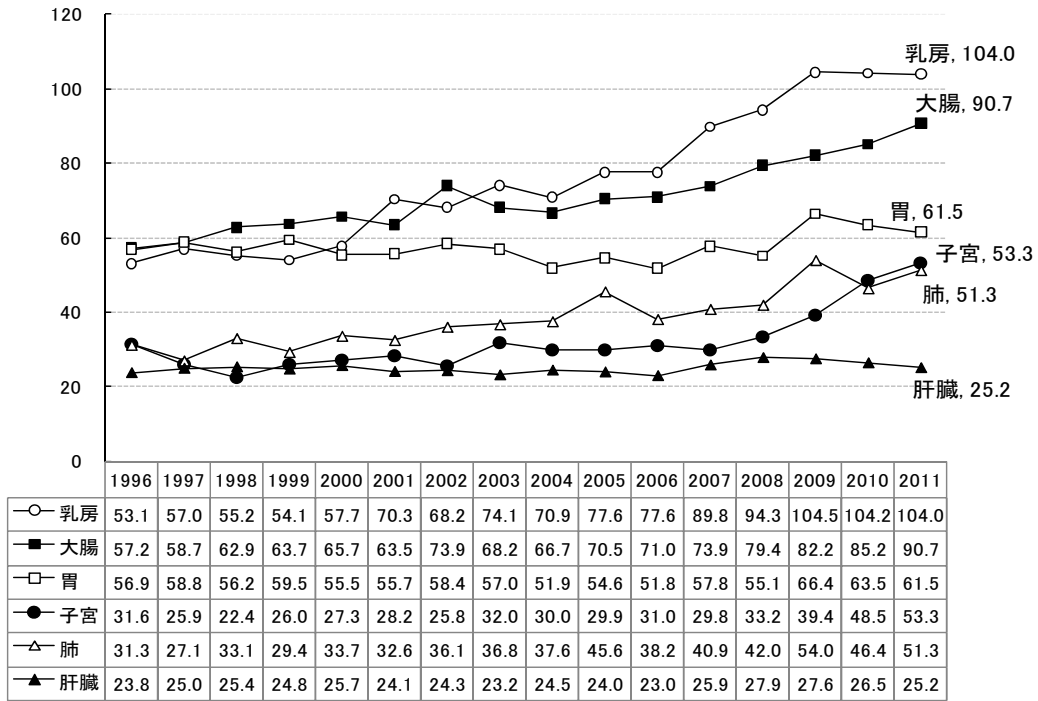
図9 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、男



女の主要部位別、罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した(図10、11)。
 女の年齢調整罹患率を見ると年次をおって乳がんの罹患率が高くなっており、2011年は人口10万対77.7と他のがんと比較すると圧倒的に高くなっている。

人口10万対

図10 粗罹患率の年次推移—主要部位別、女



人口10万対

図11 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、女

